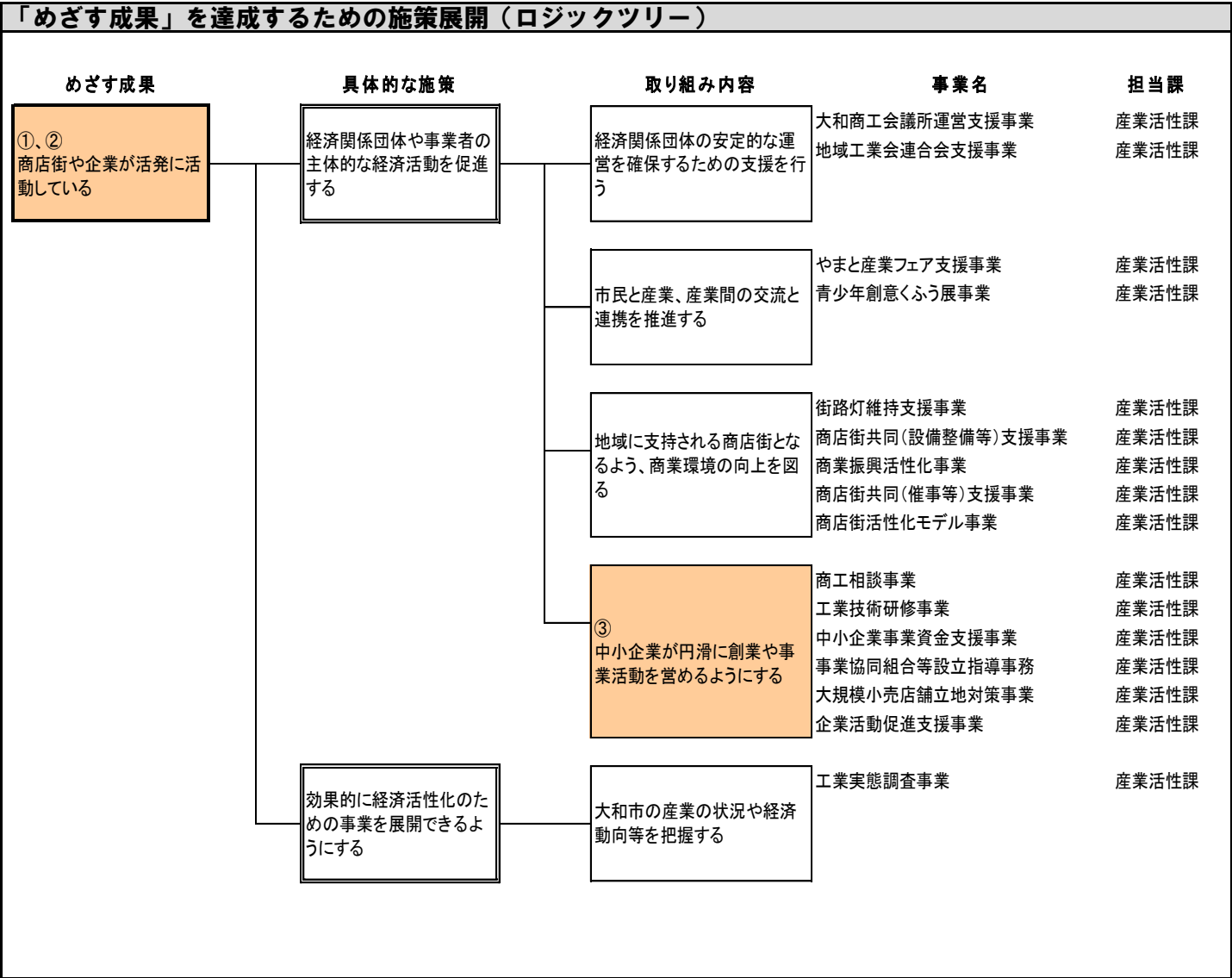


平成25年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
7-2-1 商店街や企業が活発に活動している		
総合計画体系	健康領域・基本目標	社会の健康・市民の活力があふれるまち
	個別目標	にぎわいのある地域をつくる
	めざす成果	商店街や企業が活発に活動している 商店や企業に活気があり、活発に経済活動を展開しています。また、新たに事業を始める人が増えています。



総合計画掲載指標①		総合計画掲載指標②		総合計画掲載指標③	
大和市は、買い物がしやすいと思う市民の割合		市内商業者が商店街団体に加入している割合		法人設立数	
計画策定時 現状値	66. 6%	計画策定時 現状値	84. 7%	計画策定時 現状値	336件
実績値 (H24)		実績値 (H24)	76. 3%	実績値 (H24)	309件
中間目標値 (H23)	68. 0%	中間目標値 (H23)	85. 0%	中間目標値 (H23)	350件
目標値 (H25)	70. 0%	目標値 (H25)	85. 0%	目標値 (H25)	350件

所 管 部		市民経済部	
平成24年度までの取り組み内容		【経済関係団体や事業者の主体的な経済活動を促進する】 ・市内中小企業者等の経営基盤の確立と起業者を支援するために、中小企業事業資金支援事業（間接融資）を実施して利子補給や信用保証料補助（合計613件）を行いました。また、中小企業信用保険法に基づくセーフティネット保証（220件）の認定を行いました。 ・市内中小企業による自社製品等の販路拡大や販売促進のため、展示会等への出展に要する経費の一部を補助しました。（12件） ・商店街が行うイベントや街路灯の整備や維持管理に要する費用の一部を補助することにより商店街活動を支援しました。 ・「全国ふるさとまつり うまいもの市」の開催や、商店会ホームページの運営委員会の支援などを行うことにより、商店街の活性化を図りました。 【効果的に経済活性化のための事業を展開できるようにする】 ・工業施策の参考とするため、中小企業者600社に対しアンケート形式の工業実態調査を実施し、33.3%の回答がありました。（隔年実施）	
構成事業に対する考え方（事業の量及び実施手法）		・大和商工会議所と連携を図るとともに、各種調査等を実施して市内商工業者の意見や要望を産業活性化施策に繋げていく必要があります。 ・市内中小企業は厳しい経営環境にあることから、中小企業融資制度や補助制度の充実を図って資金繰りの面から支援していく必要があります。 ・市内中小企業の新規取引先の開拓や受注機会の増大に向けた取り組みを支援するために、企業活動促進支援事業などの充実を図っていく必要があります。 ・平成25年度に策定する（仮称）商業戦略計画に基づき、総合的かつ計画的に商業振興を進める必要があります。 ・省エネ、地球環境、経費削減の観点から商店街の街路灯のLED化を進める必要があります。	
今後の展開方針		注）。例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。	
新規事業の立案			（該当する事務事業）
既存事業の拡充	・企業活動促進支援事業の出展料補助について、補助限度額と対象企業数の拡大を図ります。 ・商店街の街路灯のLED化について、整備費や電気料金の補助内容を見直します。		（該当する事務事業） 企業活動促進支援事業 街路灯維持支援事業 商店街共同（設備整備等）支援事業
事業の廃止・縮減			（該当する事務事業）
事業の効率化	・中小企業事業資金支援事業の預託金ついて、市内金融機関の融資実績に合わせ適正配分を図ります。		（該当する事務事業） 中小企業事業資金支援事業
その他見直し			（該当する事務事業）